ヤニック・ドゥプラド Yannick DEPLAEDT

教員の教育・研究活動報告

役職／職名	准教授	所属	外国語学部 フランス語学科
ふりがな	やにっく・どぅぷらど	生年	1978年
学歴	フランスリール第3大学現代文学部文学科卒業（2001年） フランスリール第3大学現代文学部修士課程修了（2003年） フランスグルノーブル第3大学FLE（外国語としてのフランス語教育）修士課程修了（2006年）		
学位	修士号 (現代文学部) [2003年 リール第3大学] 修士 FLE（外国語としてのフランス語教育）[2006年 グルノーブル第3大学]		
研究分野	フランス文学、フランス語教授法、ドキュメンタリー映画評論、フランス映画史, Board Game Studies		
研究テーマ	ドキュメンタリー映画と社会学 文学とフランス語教育 フランス無声映画時代とフェミニズム 文学と映画 Board Game Studies		

主な研究業績

著書

題名	単・共	発行日	発行所名	備考
世界は映画でできている	共	2021.3	名古屋外国語大学出版会	

学術論文

題名	単・共	発行・発表日	発行雑誌又は発行学会等の名称	備考
Maurice G. Dantec, la figure du labyrinthe dans le roman policier français	単	2003.6	リール大学	モーリス・G・ダンテックに見るフランス・ミステリー小説における迷宮の比喩
Compte-rendu de stage FLE : observations de classe et mise en contexte.	単	2006.6	グルノーブル大学	FLE研修報告書：生徒の観察と状況判断
De John Grierson à Danny Boyle, Naissance et postérité de la British New Wave.	単	2009.1	Cadrage	ジョン・グリルソンからダニー・ボイルまで、ブリティッシュ・ニューウェーブの誕生と永久性
La poétique dans la trilogie de l'enfance de Bill Douglas.	単	2009.2	Cadrage	ビル・ダグラスの幼少期3部作に見る詩学
Bill Douglas, ou la mémoire au cinéma.	単	2010.4	名古屋大国語大学外国語学部紀要	ビル・ダグラス監督による記憶の映画美術
Germaine Dulac, le féminisme en noir et blanc.	単	2010.9	名古屋大国語大学外国語学部紀要	ジェルメーヌ・デュラック監督の白黒フェミニズムを語る
Exploitation des sous-titres de film en classe de FLE La Haine, de Mathieu Kassovitz (avec Marco Sottile).	単	2011.11	日本フランス語教育学会紀要	マチュー・カソヴィッツ監督の「憎しみ」、外国語としてフランス語のゼミーで字幕作成
La méthodologie documentaire des films de Frederick Wiseman	単	2012.4	名古屋大国語大学外国語学部紀要	フレデリック・ワイズマンにおけるドキュメンタリー映画作り
Les stratégies d'apprentissage appliquées au public japonais	単	2012.9	名古屋大国語大学外国語学部紀要	日本人の大学生にフランス語の学力の戦略を教える
フレデリック・ワイズマン　－　社会制度の奥底へ。	単	2012.2	日本映画学会会報第３０号	視点３（日本語）
Sous-titrage : du mot au contexte, pratiques de classe.	単	2012.5	名古屋外国語大学　教育目標とその方法　第２版	フランス映画字幕作成：文脈における言葉
Le cinéma comme lieu de la découverte culturelle.	単	2012.5	名古屋外国語大学　教育目標とその方法　第２版	映画の中のフランス文化
Emergence de la Nouvelle Vague	単	2012.8	名古屋大国語大学外国語学部紀要	フランスのヌーヴェルヴァーグの誕生
Frederick Wiseman, un cinéaste sociologue ? (Ouvrage dirigé par Réjane Vallée, Maître de Conférences à l'Université d'Evry).	単	2013.4	Cinemaction (Sociologie de l'image, sociologie par l'image)	フレデリック・ワイズマン監督のドキュメンタリー映画「臨死」は社会学であるか？
日本人フランス語学習者のための「学習支援ライブラリー」　－　ヨーロッパ言語共通参照枠に基づくプロジェクトの日本大学への導入に向けてー	共	2013.8	名古屋大国語大学外国語学部紀要	La Bibliothèque de l'Apprenant -- Vers l'intégration d'un outil encadré par le CECR dans une université japonaise. (Avec Yuki Takei).
Le minimalisme japonais	単	2014.4	Plato n.65	日本のミニマリズム
De l'importance du TGM	単	2014.7	Plato n.67	TGMの必要性について
Naissance et postérité de la British New Wave. 1ère partie : l'émergence des Angry Young Men ?	単	2014.8	名古屋大国語大学外国語学部紀要	ブリティッシュ・ニューウェーブの誕生と永久性
Naissance et postérité de la British New Wave. 2ème partie : l'émergence des Angry Young Men ?	単	2015.8	名古屋大国語大学外国語学部紀要	ブリティッシュ・ニューウェーブの誕生と永久性2
La Continental-Films, du cinéma français chez les Nazis	単	2015.9	日本フランス語フランス文学会中部支部 N.39	
La représentation du Grand Berlin dans le cinéma expressionniste allemand	共	2016.春	名古屋外国語大学Artes Mundi	
Quand les mots se dévorent	単	2017.春	名古屋外国語大学Artes Mundi	
Saashi & Saashi : Duo d'auteurs fascinants	単	2017.4	Plato n.95	
Accueil d'étudiants en FLE dans une université japonaise: un défi permanent	共	2017.9	日本フランス語フランス文学会中部支部 N.41	
Treme, la musique par-delà le chaos	単	2018.春	名古屋外国語大学Artes Mundi	
Nouvelle Vague et Nouveau Roman : de la proximité sémantique à la proximité artistique	単	2018.9	名古屋外国語大学論集第3号	
Stalker, ou la contrée des rêves de l'homme	単	2019.4	名古屋外国語大学Artes Mundi	
Les ombres du cimetière	単	2020.4	名古屋外国語大学Artes Mundi	
The Japanese Market, shifting from amateurship to professionalization	単	2022	Board Game Studies Journal Volume 16 Issue 2	英語
「フランスにおけるボードゲームの実践と2020年のロックダウン」	共	2022	大阪産業大学人間環境論集	MENANT Julien・曽我千亜紀・山本晃輔
ゲーム没入感尺度（GEQ）の哲学的分析：フロー概念再考	共	2024	社会情報学　第13巻２号	曽我千亜紀、山本晃輔、ムナンジュリアン
Accueil de stagiaires en master FLE dans une université japonaise : à l'heure du bilan	共	2025.7	名古屋外国語大学論集	Laurent Annequin, Jérôme Paccoud

学会発表等

題名	単・共	発行・発表日	発行学会等の名称	備考
フランス映画の紹介：アメリとモンマルトル	単	2009.8	名古屋外国語大学	日本語
第6回全国大会発表：ジェルメーヌ・デュラック監督の白黒フェミニズムを語る	単	2010.11	日本映画学会	日本語
フランス映画の紹介：ジャック・タチ監督とフランスのユーモア	単	2010.8	名古屋外国語大学	日本語
日本フランス語教育学会にて「La langue des sous-titres dans la classe de Français Langue Etrangère」(Avec Marco Sottile).	共	2011.11	日本フランス語教育学会	フランス語
フランス映画の紹介：僕の好きな先生	単	2011.8	名古屋外国語大学	フランス語
Atelier de sous-titrage en français (Avec Marco Sottile).	共	2012.3	関西フランス語教育研究会	フランス語
Podcast, site, journal, monde virtuel... Des outils pour redynamiser l'enseignement du français. (Avec Laurent Annequin).	共	2012.11	日本フランス語教育学会	フランス語
月世界旅行、解説	単	2014.10	名古屋外国語大学	フランス語・日本語
La Continental-Films, du cinéma français chez les Nazis	単	2014.12	日本フランス語フランス文学会中部支部大会　愛知大学名古屋キャンパス	フランス語
Accueil d'étudiants en FLE dans une université japonaise: un défi permanent	共	2016.12	日本フランス語フランス文学会中部支部大会　名古屋外国語大学	フランス語
シンポジウム「私の«世界一»の映画ー映画体験とは何か」	共	2019.6	名古屋外国語大学	日本語
The Japanese Market, shifting from amateurship to professionalization	単	2021.4.16	XXIIIrd Board Game Studies Colloquium, Paris	英語
Boardgames in intercultural and social work context	共	2021.05.22	Zones of Connection: Bradley Tabletop Games Symposium 2021	Jean-Emmanuel Barbier, Virginie Tacq, Bruno Dupont, Yannick Deplaedt, Melissa Rogerson (英語)
ゲームの没入感とは何か	共	2022.09.04	日本デジタルゲーム学会2022年夏季研究発表大会	曽我 千亜紀、山本晃輔、 ジュリアン・ムナン（科研費のメンバーと共に）
ゲームにおける楽しさはフローなのか？	共	2022	2022年社会情報学会（SSI）学年大会	曽我 千亜紀、山本晃輔、 ジュリアン・ムナン
Le jeu de société comme outil pour créer un pont entre les cultures	共	2023.05.10	日本フランス語教育学会大東文化会館	Julien Menant
対面とオンラインのコミュニケーション空間 ー デジタルゲームとアナログゲームを比較して	共	2023	2023年社会情報学会（SSI）学年大会	曽我 千亜紀、山本晃輔、 ジュリアン・ムナン
ワークショップ「ボードゲームデザイン Créer des jeux de société」、アントワーヌ・ボウザ、上杉真人（　科学研究費基盤(C)「没入感から見た内的動機づけを高めるゲーミフィケーション：汎用的学習モデルの形成」成果発表（於名古屋外国語大学名駅キャンパス））	共	2023	国際会議/ワークショップ 企画・司会・通訳	
ワークショップと対談「Auteurs de jeux de société　ボードゲームの作者とは」、アントワーヌ・ボウザ、Saashi（科学研究費基盤(C)「「没入感から見た内的動機づけを高めるゲーミフィケーション：汎用的学習モデルの形成」成果発表（於関西日仏学館・京都）	共	2023	国際会議/ワークショップ 企画・司会・通訳	
講演会「ゲームの没入感とモチベーション」、アントワーヌ・ボウザ（科学研究費基盤(C)「「没入感から見た内的動機づけを高めるゲーミフィケーション：汎用的学習モデルの形成」成果発表（於大阪産業大学梅田サテライトキャンパス）」	共	2023	国際会議/ワークショップ 企画・司会・通訳	
Accueil de stagiaires en Master FLE dans une université japonaise : à l'heure du bilan	共	2024.05.12	日本フランス語教育学会琉球大学	Laurent Annequin, Jérôme Paccoud
Overview of the Japanese Board Game Industry	単	2024.7.13	2024 BoardgameCon ソウル、韓国	英語
ポスト・トゥルース時代のコミュニケーション ー 情動から理性へ	共	2024	2024年社会情報学会（SSI）学年大会	曽我 千亜紀、山本晃輔、 ジュリアン・ムナン
The Very Special Features of the Japanese Game Market	共	2025	AGPI 国際研究会 (フィレンツェ)	英語 (Sybille Whitehill)

主な教育上の業績

大学教育の改善に関する活動

活動事項	年月	備考
卒業論文担当	2010.4～現在	
フランス語学科サークル顧問	2009.4～現在	
名古屋外国語大学フランス語学科, フラ語マグ(フランス語雑誌)の編集長	2009.4～2018	デザイン, 記事, フランス語学科の大岩准教授の日本語記事のフランス語訳担当
名古屋外国語大学フランス語学科, Gaidai en Direct (ポッドキャスト)	2012.4～2016	

作成した教科書

教科書名（対象講義名）	単・共	年月	備考
Pas à Pas 話せて書けるフランス語入門	共	2017.3	三修社

主な職務上の業績

資格・免許

資格・免許の名称	取得年月	発行者・登録番号	備考
フランス語試験監督資格	2006.7	CIEP	
TOEIC 985点取得	2010.6	南山大学で受験	
フランス語試験監督資格（更新）	2011.5	CIEP	
フランス語試験監督資格（更新）	2014.4	CIEP	
フランス語試験監督資格（更新）	2019.4	CIEP	
フランス語試験監督資格（更新）	2022.9	CIEP / FEI+	

社会的活動等

活動事項	期間（年月）	活動機関名
ドキュメンタリー・フィルムフェスティバル, (愛知芸術文化センター), 映画の選定者, パネリスト, 公式	2009.10	愛知芸術文化センター
ドキュメンタリー・フィルムフェスティバル, (愛知芸術文化センター), 映画の選定者, パネリスト, 公式	2010.10	愛知芸術文化センター
ドキュメンタリー・フィルムフェスティバル, (愛知芸術文化センター), 映画の選定者, パネリスト, 公式	2011.10	愛知芸術文化センター
フランスのアスドール：日本初受賞TRIO（宮野 華也作）の紹介	2024.02	カンヌ国際ゲーム際
ドイツのSpiel：日本初受賞Bomb Busters（林 尚志作）の紹介	2025.07	ベルリン・Spiel des Jahres

所属学会

所属学会名称

所属学会名称
日本映画学会
日本フランス語教育学会

所属学会役員歴等

所属学会及び役員名	期間（年月）	備考
日本フランス語教育学会委員会会員	2011.4～現在	

主な職歴

期間（年月）	事項	備考
2004.4～2009.3	アリアンスフランセーズ愛知フランス協会	
2005.4～2020.3	明和高校1、2、3年次（非常勤講師）	
2008.4～2009.3	愛知大学（非常勤講師）	
2005.4～2009.3	名古屋外国語大学フランス語学科（非常勤講師）	
2009.4～2012.3	名古屋外国語大学フランス語学科　（招聘講師）	
2012.4~2018.3	名古屋外国語大学フランス語学科　（講師）	
2012.4~2014.3	愛知県立大学ヨーロッパ学科（非常勤講師）	
2016.9~2020.3	名古屋大学文学研究科文学部（非常勤講師）	
2019.4～現在	名古屋外国語大学フランス語学科 (准教授)	

科学研究費等外部資金採択実績

名称	題名	機関名（採択時）	年度	備考
基盤研究（C）	没入感から見た内的動機づけを高めるゲーミフィケーション　汎用的学習モデルの形成	外国語学部	2020 年度 ～ 2024 年度	

主な担当科目と授業の改善と工夫

主な担当科目名 対象学部・学科

担当科目名	対象学部・学科
フランス語A-1･2（実用フランス語I）・フランス語B-1･2（実用フランス語I）	外国語学部 フランス語学科
フランス語A-3･4（実用フランス語II）・フランス語B-3･4（実用フランス語II）	外国語学部 フランス語学科
仏文研H−1･2（言語B）	外国語学部 フランス語学科
仏文研D−1･2（文学A）	外国語学部 フランス語学科
映画論A	外国語学部